
2006年3月期の業績



2006年3月期の主要アクション



2006年3月期

4月：第三者割当増資による資本強化（約5億円）

7月：株式会社フレームワークスタジオの子会社化

7月：日本ヒューレット・パッカード社のPDAに位置情報活用パーソナルナビゲーションを提供

9月：オックスホールディングス株式会社と業務・資本提携

9月：日産iモード「羅針盤」に「BeView」コンテンツを提供

10月：100%子会社Be plusの設立

12月：WindowsMobile5.0端末向けに位置情報活用パーソナルナビゲーション新版提供開始

12月：ビデオカメラ対応版 リアルタイム動画配信サービスを提供

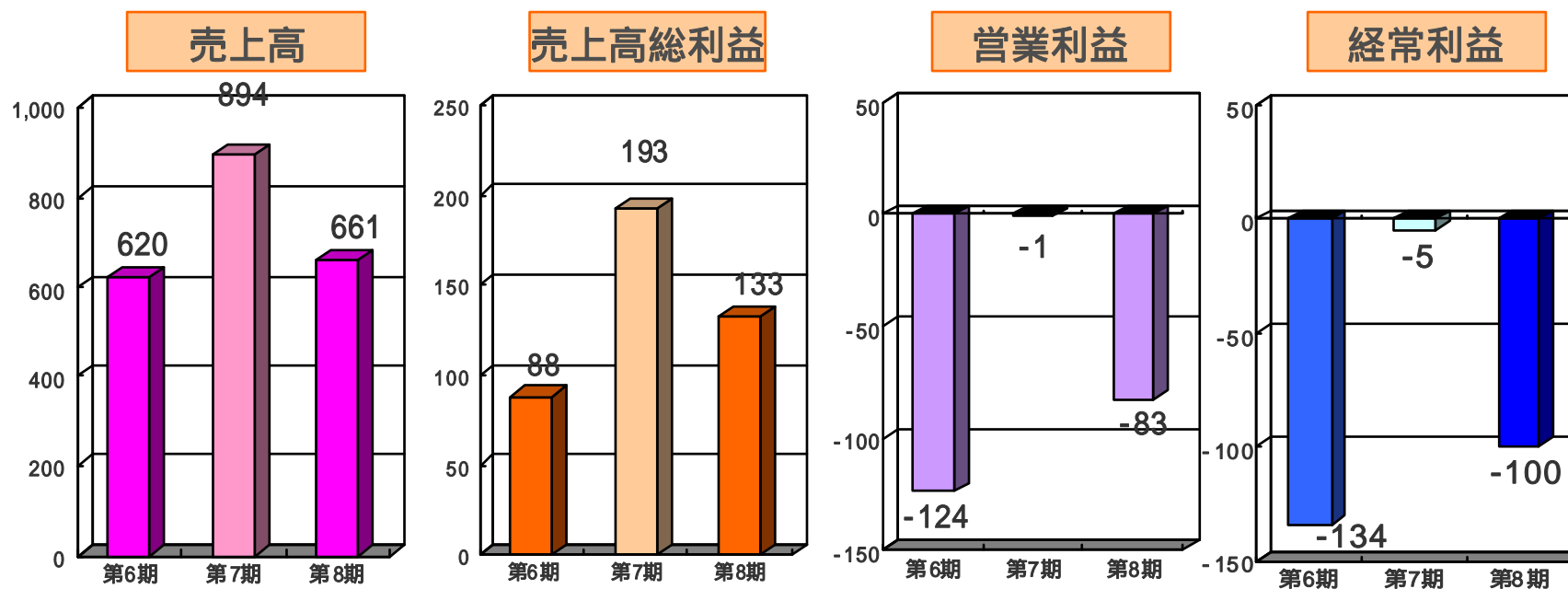
1月：株式会社アイ・オー・データ機器、株式会社プロジェクトとの共同出資により株式会社エム・データ設立

4月：WILLCOM製端末W-ZERO3向けに音声ガイド付き位置情報活用サービス提供開始

4月：株式会社フレームワークスタジオと共同でビジネスブログサービスを開始

売上高および損益の推移 (単独)

- 売上高は前年比26.06%減。位置情報関連、無線LAN関連案件の期ずれと新規事業の立上げの遅れによる。
- M&A、第三者割当増資、業務提携に関わる資本提携などで、販管費が一時的に増加。
- 結果、経常利益で100百万円の赤字。



(単位:百万円)

業績・収益性の分析 (単独)

- 売上高は当初予算(1100百万円)に対し661百万円、前期比 - 26.1%。
- 位置情報関連及び無線LAN関連で大型案件の期ずれと新規事業の立ち上げが遅れた。
- M&A、第三者割当増資、業務提携に関わる資本提携などで、販管費が一時的に増加。
- 特別利益として、子会社整理損失引当金の戻入。
- 特別損失として、ソフトウェアの除却・減損処理、投資有価証券の減損処理を行っている。

中間期業績比較	第7期 (2005年3月)	第8期 (2006年3月)	前年同期比	
			金額	百分率
売上高	894	661	233	-26.1%
売上高総利益	194	134	60	-30.9%
売上高総利益率	21.7%	20.3%	-	-
販売管理費	195	217	22	11.3%
販売管理費比率	21.8%	32.8%	-	-
営業利益	1	83	82	-
営業利益率	-0.1%	-12.6%	-	-
経常利益	5	100	95	-
経常利益率	-0.6%	-15.1%	-	-
当期(中間)純利益	0	427	427	-
当期純利益率	0.0%	-64.6%	-	-

・位置情報関連及び無線LAN関連で大型案件の期ずれと新規事業の立ち上げの遅れ

・M&A、第三者割当増資、業務提携に伴う資本提携などが、一時的要因として発生。

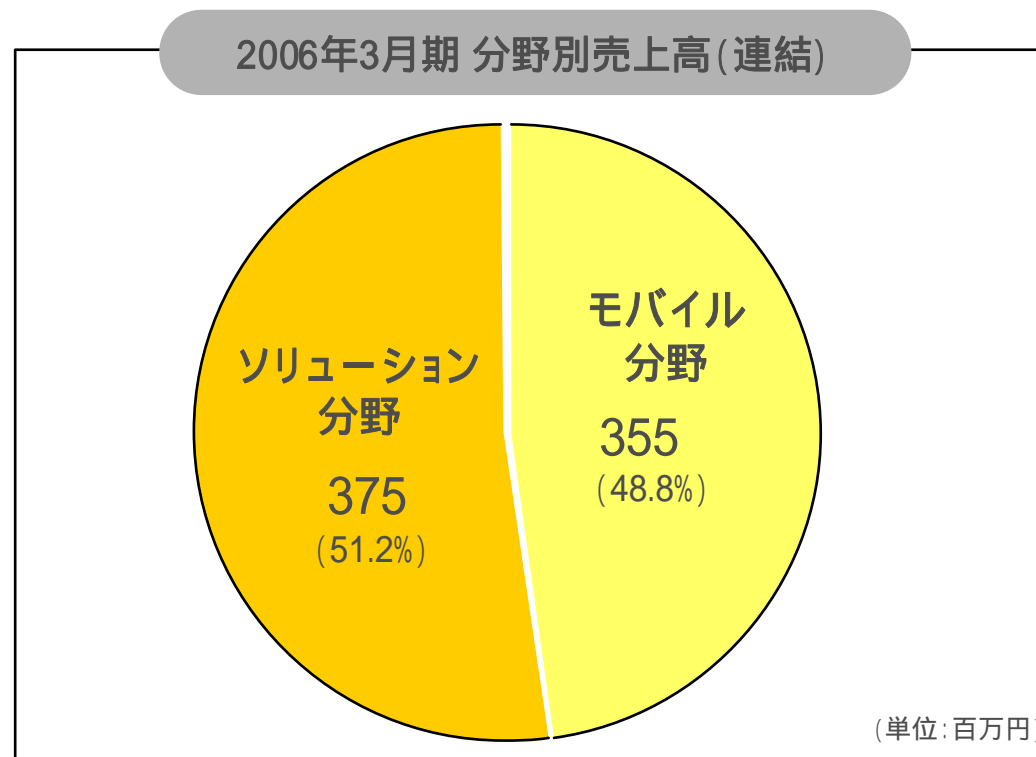
・特別利益として、子会社整理損失引当金の戻入。
・特別損失として、ソフトウェアの除却・減損処理、投資有価証券の減損処理

(単位:百万円)

第8期業績	第8期 (2006年3月)
売上高	731
売上高総利益	166
売上高総利益率	22.7%
販売管理費	261
販売管理費比率	35.7%
営業損益	-95
営業損益率	-13.0%
経常損益	-117
経常損益率	-16.0%
当期(中間)純損益	-432
当期純損益率	-59.1%

(単位:百万円)

- ソリューション分野はモニタリング倶楽部、モバイル・Web 開発が当初予定を下回り、新規事業の立ち上げが大きく遅れた。
- モバイル分野は、JRトラベルナビゲータ、は着実な売り上げを達成。
- 位置情報事業、無線LAN事業で大型案件の期ずれが発生。



- 増資による資金調達により資産合計2,027百万円。うち投資有価証券が535百万円で、これは、業務提携に関わる資本提携などによるもの。
- 借入金はなく、無借金経営を継続。自己資本比率94.6%。
- 流動比率は1340.8%と財務的安定性は更に盤石に。

	第7期 (2005年3月・単体)	第8期 (2006年3月・連結)
資産合計	1,373	2,140
うち現金・預金	721	1,249
流動比率(%)	404.3%	1340.8%
固定資産	241	641
負債合計	282	113
うち流動負債	277	111
資本合計	1,090	2,027
自己資本比率(%)	79.4%	94.6%

2006年3月末バランスシート

